

Q21

昭和50年から52年に生まれた人たちのポリオの免疫が他の年齢層と比べて低いとされていますが、どのようにすべきですか。

A

平成19年（2007）度感染症流行予測調査事業によると、この年代のI型ポリオウイルスに対する中和抗体保有率は、前後の年齢層に比べると低いことがわかっています（国立感染症研究所感染症情報センターHP 感染症流行予測調査 http://idsc.nih.go.jp/yosoku/Polio/2007P/Fig07_1c-2.pdf）。ただし、全員が抗体を持っていないわけではなく、その他の年齢層では80～90%以上が中和抗体を保有しているのに対して、この年齢層では、50～80%程度に留まっています。わが国にいる限りでは野生型ポリオウイルスの感染を受ける心配はないでしょう。しかし、ポリオウイルス常在国（参照 p49, 1. ポリオの項）に渡航する時や子どもがポリオワクチンの接種を受ける場合には、念のため同時期に接種を勧めるとよいでしょう。なお、抗体検査実施後、十分な抗体を保有していなかった場合に予防接種を受けることも可能ですが、抗体検査を受けずに予防接種を受ける方が現実的な方法と言えます。なお、この場合の接種は、予防接種法に基づく定期接種ではなく、任意接種となります。抗体検査費用も健康保健の適応はなく、自費扱いとなります。